

湖南省都市計画マスタープラン改訂について 概要説明資料

1. 都市計画マスタープランについて

■都市計画マスタープランとは

- ・都市計画マスタープランは、都市計画法第 18 条の2に基づき「土地利用計画をはじめとするまちづくりの方針」や「都市計画に関する事業やルールの方針」を定めた計画です。
- ・本市では、平成 20 年に「湖南省都市計画マスタープラン」を策定しています。

■計画の見直しについて

- ・現行計画の計画期間の中間に達した事、また、その間に策定された総合計画をはじめとする諸計画との整合やまちづくりの進捗、国や県の動向などを踏まえ、現行計画のまちづくりの方向性を尊重しつつ、必要な時点修正を行います。

<計画の見直しポイント>

1 社会情勢の変化やまちづくりの進捗に対する対応

(少子高齢化、人口減少、大規模災害の多発、立地適正化制度 等)

2 上位・関連計画との整合

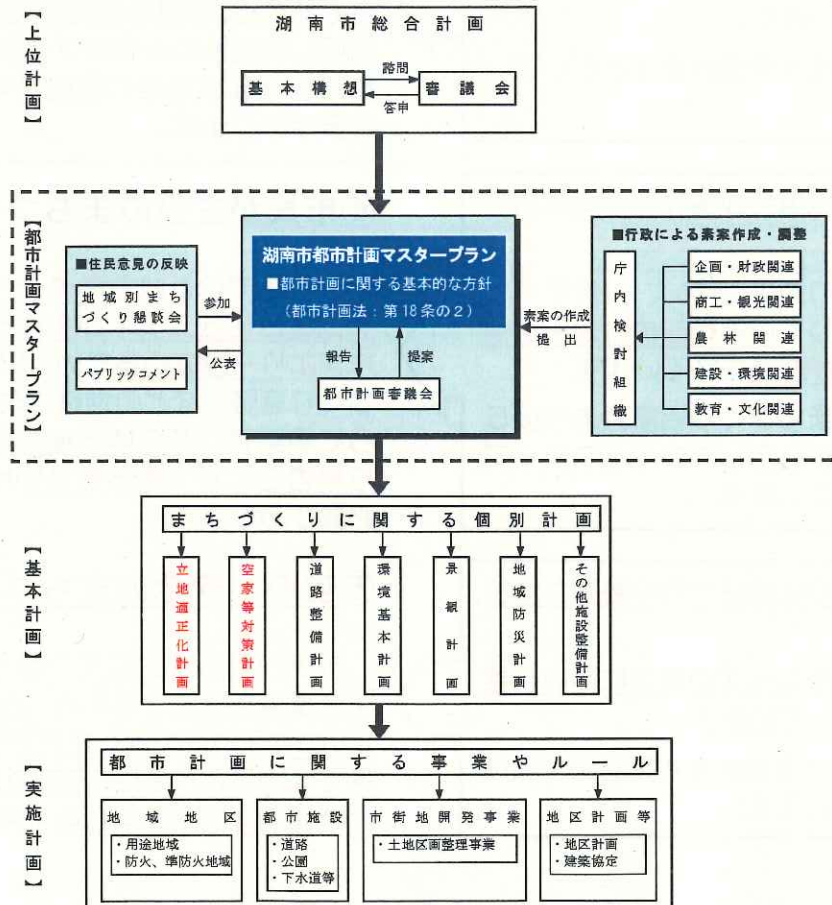
(大津湖南都市計画、第二次湖南省総合計画、湖南省立地適正化計画 等)

■目標年次

- ・長期的な視点のもと、前計画の開始時期から概ね 20 年後の 2035 年とします。

■計画の位置付け

- ・都市計画マスタープランの位置づけは次のとおりです。



赤字：新たに追加した計画

2. 現状と課題

【現状】

- ・市域の西側に栗東湖南インターチェンジが開通し、交通の利便性が向上しています。
- ・現行計画に基づき都市整備が計画的に進められています。
- ・平成 29 年に湖南省立地適正化計画を策定しています。

- ・人口は、平成 17 年をピークに減少しており、平成 27 年現在 54,289 人となっています。
- ・平成 27 年時点で年少人口が 14.1%、生産人口が 64.4%、高齢人口が 21.5%となっており、全国的な傾向と同様に、少子高齢化が進展しています。
- ・平成 27 年に湖南省人口ビジョン、総合戦略を策定しています。

- ・東海道や石部宿、湖南三山など、歴史・文化資源を多く有しています。
- ・物の充足（量）から心の充足（質）の時代に変化してきています。
- ・平成 29 年に湖南省景観計画を改定しています。

- ・地域まちづくり協議会が様々な地域活動を行っています。
- ・少子高齢化や人口減少に伴い、今後多くの社会資本を管理している行政の税源不足や管理余力の低下が懸念されています。
- ・令和元年に地域まちづくり協議会の今後 5 年間の新たな方針を示したコミュニティプランが策定されています。

- ・地球温暖化により猛暑日や集中豪雨が増加しています。
- ・人口減少や社会的ニーズの変化に伴い空き家・空地が増加しています。
- ・平成 29 年に湖南省空家等対策計画・実施計画を策定しています。

【課題】

①計画的なまちづくりの推進

近畿圏と中部圏を繋ぐ重要な立地特性を活かし、多様な都市機能の充実を図るとともにまちの活力を維持・強化する必要があります。

②まとまりのある市街地整備の推進

低炭素・循環型社会への適応や、少子高齢化や人口減少に対応したコンパクトなまちづくりに対応するため、多様な都市機能を適切に市街地へ誘導しつつ、まとまりのある市街地整備を進める必要があります。

③あたたかいまちづくりの推進

心やすらぐ生活の質を高めるまちづくりを進めるため、今後も歴史や文化資源を最大限に活用した個性ある景観づくりや、花や緑で彩られた快適な住宅地の景観づくりを進めていく必要があります。

④市民が主役のまちづくりの推進

これまでの行政主導のまちづくりから住民や地域コミュニティが主体となったまちづくりをより一層進めるため、市民同士や地域まちづくり協議会などの地域コミュニティ同士、さらに事業者があらゆる機会を通じて協働で取り組むことができる環境や仕組みを強化する必要があります。

⑤安心・安全のまちづくりの推進

市民が安心かつ安全で暮らすことのできる生活環境を確保するため、あらゆる分野で「減災」の考え方を徹底した災害に強い地域づくりをすすめるとともに、将来の人口動向等を見据えた適切な対策を講じる必要があります。

新たな視点

3. まちづくりの目標

■まちづくりの理念及び基本目標

・今回は中間年の計画見直しであるため、まちづくりの理念及び基本目標は現行計画を踏襲することとします。

【まちづくりの将来像】

ずっとここに暮らしたい!

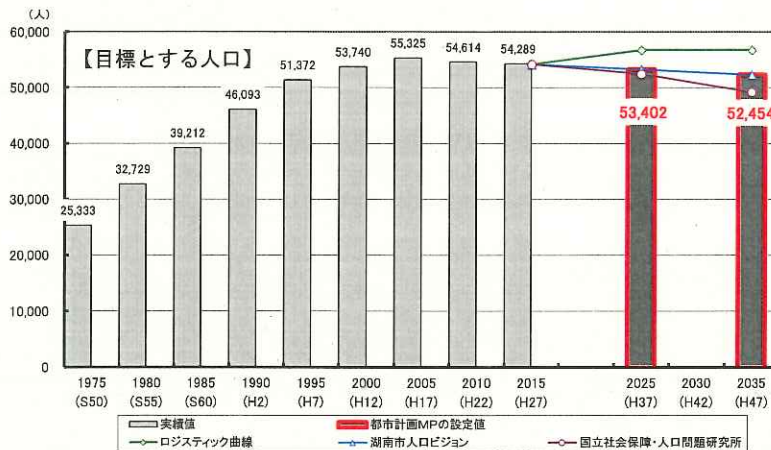
みんなで創ろう きらめき湖南

■ まちづくりの基本目標 ■

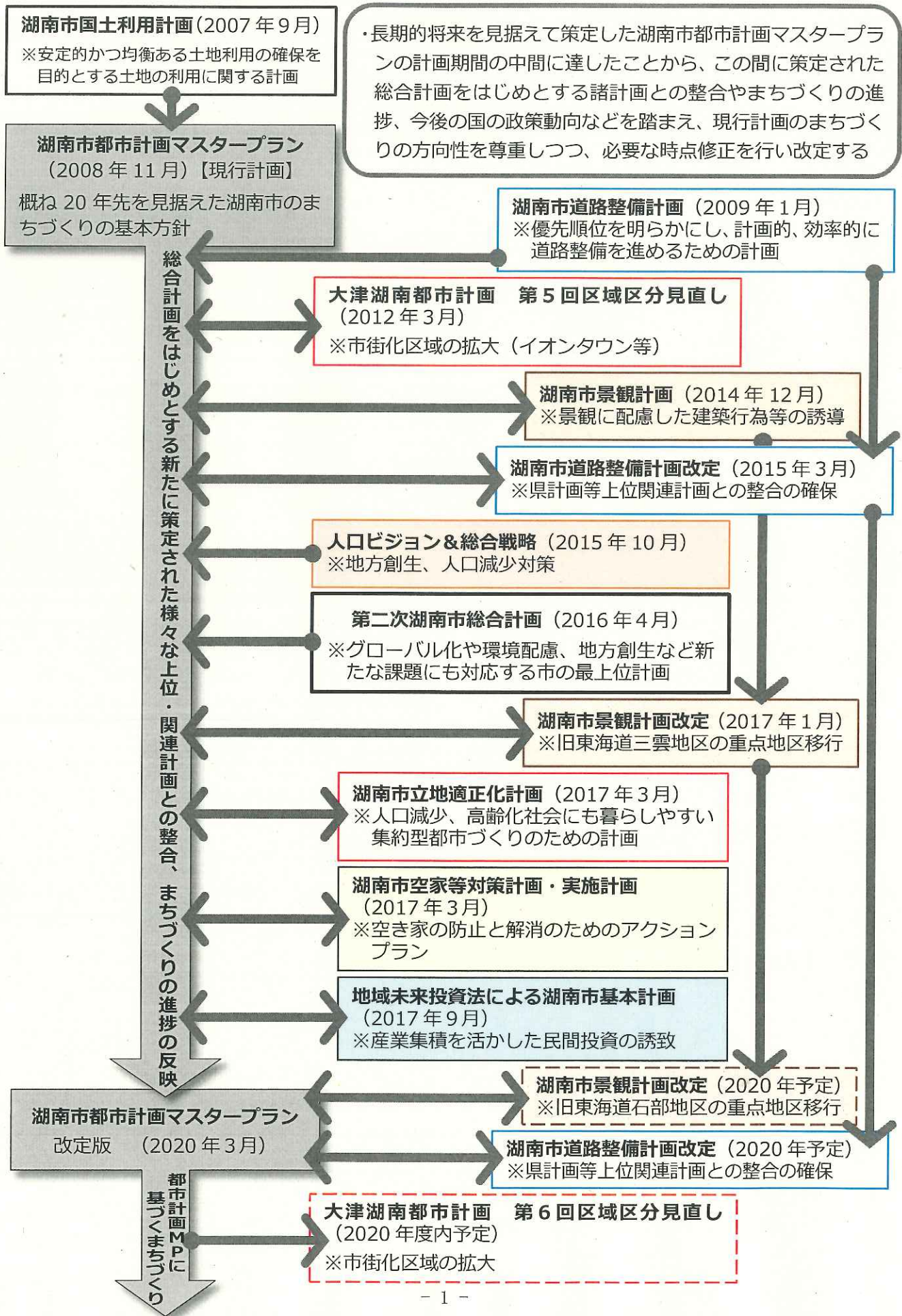
- I : 安心・安全、循環と共生を重視した持続可能なまちづくり
- II : まちの活力とにぎわいを創出する多様な拠点づくり
- III : 人と地域の交わりを支える、便利で快適なネットワークづくり
- IV : 花や緑、美しい街並みで心を繋ぐ景観づくり
- V : 協働による誇りと愛着を育むまちづくり

■目標人口・世帯数

・本計画では、2035年の将来人口を52,454人、世帯数を約25,839世帯と設定します。



改定の考え方



湖南省都市計画マスタープラン改訂および区域区分変更検討業務 湖南省都市計画マスタープラン改訂スケジュール（案）

年月	2019年									2020年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
作業項目													
(1) 現況および課題の分析（済）													
(2) まちづくりの目標の見直し（済）													
(3) 全体構想の見直し	①土地利用	[Progress bar from April to November]											
	②交通体系	[Progress bar from April to September]											
	③公園・緑地		[Progress bar from May to June]										
	④景観づくり		[Progress bar from May to July]										
	⑤河川、上下水道			[Progress bar from June to July]									
	⑥安心・安全			[Progress bar from June to August]									
(4) 地域別構想の見直し					[Progress bar from August to October]								
(5) 実現化方策の検討							[Progress bar from October to November]						
(6) 住民意向調査	パブリックコメント								[Progress bar: 準備]	[Progress bar: 実施]	[Progress bar: まとめ・反映]		
	地域への確認						[Progress bar from October to November]						
議会（委員会）							○			○		●	
都市計画審議会					●		●						